



日本に来てくれて有難う。そして、日本を学ぶ先に選んでくれて本当に有難う。深く感謝し、皆さんを心より歓迎します。

溝畑長官から学生へ宛てた手紙より

# 観光立国の実現 に向けた取り組み

難しいビジネスを  
わかりやすく伝える  
特別講義  
第17回

日中通訳翻訳コース  
日本語学科

観光庁長官

溝畑  
宏  
氏

## Profile

東京大学法学部卒業後の1985年、自治省(現総務省)に入省。その後、大分県庁に出向し、スポーツ振興の一環として大分フットボールクラブの取締役ゼネラルマネージャーに就任。さらに、2002年のFIFAワールドカップの大分県での試合誘致などに手腕を發揮。1998年総務省へ復帰、翌年再び大分県に出向し大分県のサッカーを大躍進させた。さらに、2006年に公務員を退職後、大分のプロサッカーチーム、大分トリニータの代表取締役就任し、2008年にはJリーグで優勝させるなど、チームの大躍進に手腕を振るった。2010年1月、観光庁長官に就任、現在に至る。



留学生に向けて熱く語る溝畑長官



講義に引き込まれる学生たち



増田中学校長とのトークセッション



8月26日(金)、浅草ビューホテルを会場に特別講師として、溝畑宏・観光庁長官をお迎えし、日中通訳翻訳コース等の留学生を対象にした「ビジネス特別講義」を開催しました。

講義は、溝畑長官の学生時代の志や夢、そして「ご自身が、これまで数々のプロジェクトに対して、どのような姿勢で向き合ってきたかを伝えるところから始まりました。

「人生は自分が主役であり、自分が主導権を取るという強い気持ちは持ち、この組織やチームを自分の力で活性化させる、自分が主動する、そういう思考習慣を身につけて欲しい。」人には3つのタイプがある。諦めずに向上心を持つ人、「現状にしがみついたりやり過ぎる」とする人、「悲観的で周りのせいにはばかりする人がいる。皆さんも自らアクションを起こして欲しい。何かを調べることでもいい、誰かに会いに行くのもいい、自分からアクションを起こして初めて次が見えてくる。その積み重ねが大切である。また、目標に対して人の何倍も努力し、常にレベルの高いものを見据える。そういう人に成功するチャンスが訪れる。失敗したとしても必ず再びチャンスがくる。」情熱的に熱く語

りながら、時々パフォーマンスを交える溝畑長官の講義に、学生も引き込まれていきました。

第2部の増田中学校長とのトークセッションでは、学生からのサービス業の心構えに関する質疑応答に対し、当たり前のことを当たり前にできているか。例えば、自分の身の回りの一人ひとりに丁寧な挨拶をすることも大切。そして、国や地域の活性化のために力を尽くすんだという気概をぜひ持って欲しい。」とエールを送っていただきました。

そして、最後に、皆さん、留学先に日本を選んでくれて本当にありがとう。皆さんの日本への留学経験は、母国の発展にも大きく貢献すると思っ。ぜひ志を高く持ってください。」という、溝畑長官からのメッセージとともに講義が終了しました。

学生による感謝の応援シュプレヒコールの中、溝畑長官から、学生全員と握手をしたい」とのお申し出をいただき、最後の最後まで一人一人と堅く握手を交わし、惜しみない笑顔で学生へ声を掛けてくださいました。既に予定の90分から1時間も超えており、時間を忘れるほど充実した特別講義となりました。

【観光庁HP】 <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>

